

ASCO2018に参加して



若年がんサバイバー&ケアギバー集いの場くまの間
加藤 那津

1.はじめに

この度はPAL ASCO2018プログラムにて6/1～6/5までシカゴで開催されたASCO2018に参加させていただきました。

2015年、2016年、2017年に続き4回目の参加でした。

2. 出発まで

4度目の参加と言うこともあり、ホテルはASCO2017が終わってすぐに予約し、飛行機も半年ぐらい前には予約しました。

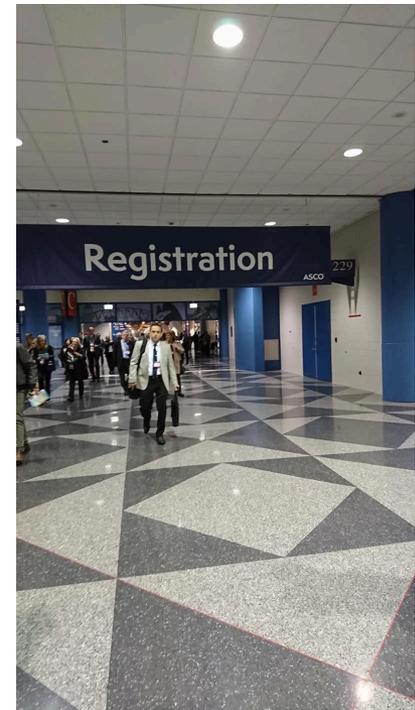
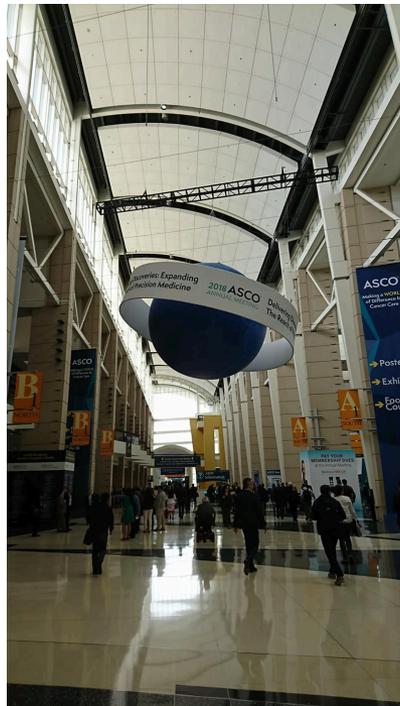
ホテルは、会場であるマコーミックプレイス行きのシャトルバスが出ているホテルの近くに予約しました。

事前にスマホにもタブレットにASCO公式アプリを入れ、どのセッションを聞くか事前に準備しました。

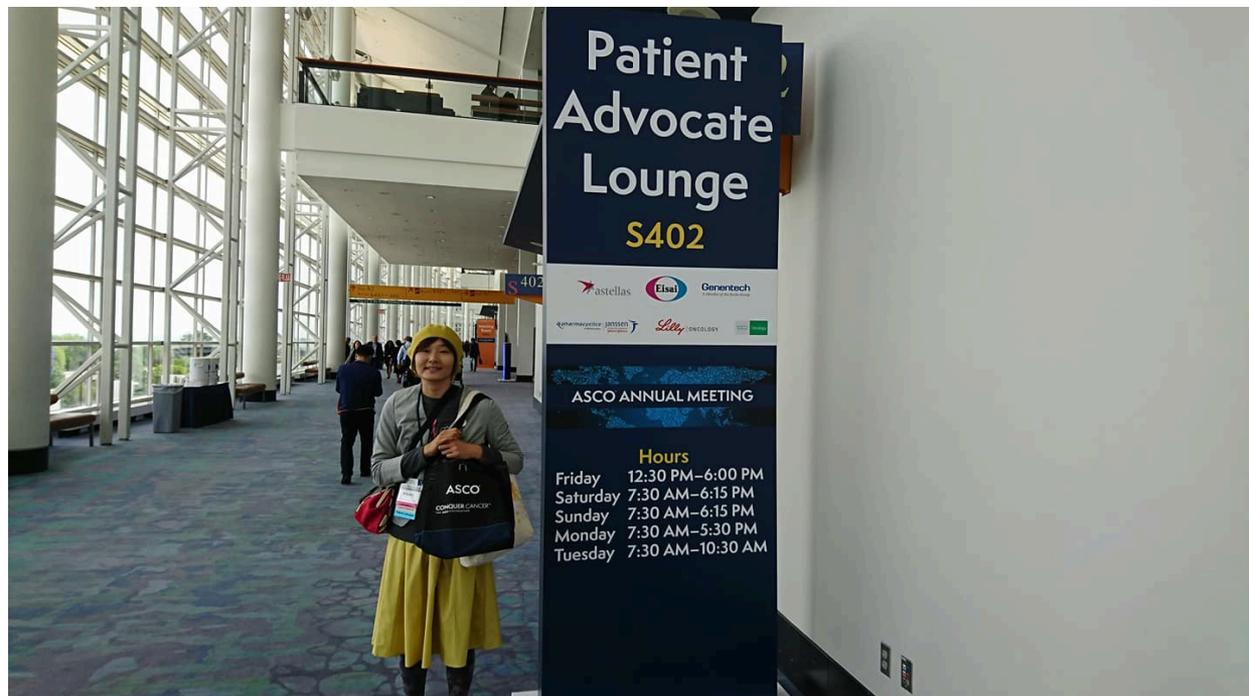
3. ASCO2018に参加

会期当日にシカゴ入りし、午後から開始の学会に参加するためホテルに荷物を置いてから、会場であるマコーミックプレイスに向かいました。

会場となっているマコーミックプレイスはとても広いので会場と会場の移動にとっても時間がかかることや、過去の経験で会場内がどこも凍えるように寒いことから、カイロや防寒グッズを用意し、歩きやすい靴で参加しました。今年の会場もとても寒かったです。



レジストレーションを済ませ、まずは患者アドボケイトが集まるラウンジへ向かいました。



4. ペイシエント・アドボケイト・ラウンジ

- ・世界各国、全米各地から集まっているペイシエント・アドボケイトとの交流の場
- ・ペイシエント・アドボケイト向けセッションの開催
- ・PCで調べ物
- ・ASCO発行の資料の収集
- ・朝食、軽食、時に昼食が提供される
- ・休憩





世界各国からの参加者

全米各地、世界各国の 患者団体の方との交流の場

アメリカの乳がん患者
団体のMaryさん



転移・再発乳がん
の患者団体のテ
レッサさん

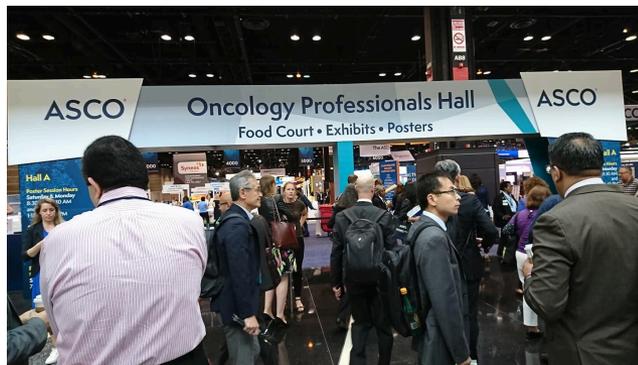


5. セッションへの参加

これまでも、「遺伝」、「乳がん」、「サバイバーシップ」をキーワードに参加セッションを決めましたが、今年もだいたい同じようなキーワードで参加セッションを決めました。

6.患者団体のブース

ASCOがスポンサーとなって、患者団体のためのブースが製薬企業やその他様々な企業のブースがあるのと同じ展示会場に（日本癌治療学会のブースもここに）ありました。様々ながん種の患者団体がブースを設けていました。そこでは、資料を集めたり、患者団体の方からお話を聞いたり、ラウンジとはまた違った形の交流をすることができます。今年は、これまでに無かった患者団体のブースが多くありました。



7.おわりに

今回は4回目のASCOに参加させていただきましたが、参加したセッションだけでなく、日本から一緒に参加した患者団体の方や、ペイシエントアドボケイトラウンジやブースで交流した海外の患者団体の方の交流から2015年11月より地元名古屋で立ち上げた若年のサバイバーさんなどの交流会のためのヒントもたくさん得ることができました。

今年はセッションの参加、患者団体の方々との交流に重点を置きました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。今後の患者活動に活かして行きます。今回は特に一緒に参加した方や、PAL委員の先生方に感謝いたします。ありがとうございました。

